

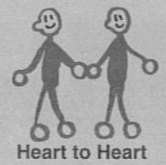
ともしび通信

コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=宮内 明彌



Heart to Heart

第38号

2004年1月発行

2003年度ボランティアコーディネーター研修を開催

自ら動き、「発見」「気づき」 そして「意欲」の湧く研修に

ボランティア活動が、開かれた市民参加型の活発な活動になっていく鍵を握るのがコーディネーターです。コープともしび

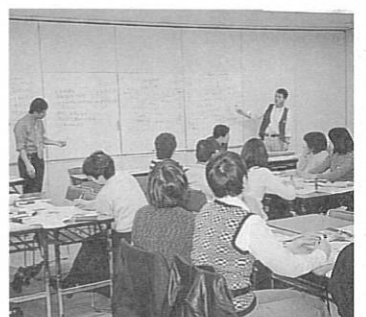
ボランティア振興財団では、今年度も11月17日(月)、27日(木)、12月11日(木)の3回シリーズで、さまざまな市民活動にかかわり講師経験も豊富な桑原英文氏(ＪＰＣｏｍ事務局長)をメイン講師に、コープこうべ、ひょうごボランティアプラザとの共催でコーディネーター研修を開催し、

今回の研修は、単なる「座学」に終わらないよう、受講者が主体的に「動く」しかけをいくつも取り入れました。

第1回にはまず、分野の異なる5つの市民団体を提示し、関心分野ごとのグループをつくりました。第2回には、「どうつながってんの?コープ、社協そしてNPO」と題して、それぞれ

の代表者が講師を含め3名登壇し、受講生も途中で「口をはさめる」参加者巻き込み型鼎談を実施。

第3回には、第1回にエントリーした団体を実際に訪問、情報収集、情報整理と発信を体験してもらったために、自分たちが集めてきた情報をもとにプレゼンテーション用のポスターを作成、互いに発表しあった後、相互評価までを行いました。特に第3回は、訪問先で心を動かされたこと、得てきた情報をぜひ伝えたいという思いなどが、ポスターセッションに遺憾なく発揮され、「まるでその団体の代表者が喋ってるみたい」「こ



第2回のコープ、社協、NPO鼎談の様子

この家に移し、環境サポート講座を開催しました。講師は、こども環境活動支援協会代表理事の千頭聡氏(今号の「ともしびインタビュー」に登場)。

同時に、訪問先の団体、あるいは受講生同士でもコープ、社協の垣根を越えた関係が生まれ「今後もっと、お互いのよさを持ち寄り補いあいたい」など積極的な声が寄せられました。

環境サポーター講座を開催

ユニークな、子ども向け環境活動 プログラムができました

「環境学習というのは、最終結果を見通す力を養うこと」これは今回の講座参加メンバーで話し合ううちに出てきた言葉です。

立花集会室、4回目は場所を猪名川町にある尼崎市立青少年い

限られた時間を有効活用するため、メーリングリストを活用し、お互いの活動内容の交流もはかりながら、アイデアを出し合いました。

(1)小学生を対象に、「遊び場」を切り口とし、地域の高齢者、行政にも協力いただき、子どもたちを取り巻く環境の現在と過去の変化、なくなってしまうもの、自分たちにできることを体験的に考え創造する

地域で、子どもと一緒に、環境問題を自分のこととして考えていくプログラムをどんなふうに取り組んでいけばいいか——そんなねらいで、10月18日(土)から11月22日(土)までの4回シリーズで、3回目まではコープ



猪名川町の尼崎市立青少年いこの家で

も深まった青少年いこの家で気分一新、2グループに分かれて、具体的に「使える」プログラムづくりに取り組みました。最終的に、

(2)親子もしくは三世代で参加してもらい、「社会が存続するには」をテーマに、自分の住む地域の定点観測を行うの2つのプログラムができ、「このままではもったいない」という参加者の声も強く、この成果を今後の講座企画に活かしていきたいと考えています。